

たんざんそすい

淡山疏水

[兵庫県・神戸市 他]



Tanzansosui Irrigation System

西洋から積極的に取り込んだ
新技術で近代的
灌漑ネットワークを構築

- 本地域は台地に位置し、導水が極めて困難。綿花を栽培していたが、明治時代には、安い輸入綿花に押され、人々の生活は困窮。
- 国内外の技師の発案により、当時最新鋭の技術で作られた英国製の鉄管とサイフォンの原理も利用し、淡山疏水が完成。
- 81箇所に及ぶため池なども活用しつつ、安定した稲作経営を実現。また近年では、地域の開発の歴史が小学校の副読本に掲載。



当時の位置図

現在の淡山疏水 (淡河川・山田川疏水)

かつての淡山疏水 (淡河川・山田川疏水)



淡河頭首工



御坂サイフォン



淡河川疏水水源



淡河川疏水水源石堰堤



淡河川疏水二十番(芥子山)隧道鉄管入口



御坂サイフォン(めがね橋)



芥子山隧道



淡河川疏水練部屋排水閘



淡河川疏水御坂噴水管敷設



淡河川疏水御坂噴水管架載志染川弧石橋



合流幹線



淡河幹線トンネル



山田川疏水水源堰堤全景



山田川疏水第一水門



山田川疏水第二号隧道



練部屋分水所



老ノ口分水所



山田川疏水第十九号隧道口



山田川疏水岩岡支線鉄管サイフォン



山田川疏水山田池堰堤